

令和元年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

① 豊かな心をはぐくむ教育の推進

<p>1 一人一人の児童生徒の尊重</p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>2 友達への思いやり</p> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>3 道徳・心の教育の充実</p> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
--	---	--

【学校から】○学校から保護者へは、学校便り、PTA総会、懇談会などを活用し、事あるごとに教育方針・目標を伝え、児童には始業式・終業式・集会等で伝えてきた。そのため、保護者・児童・教職員とも「3」「4」の割合が昨年より増えている。更にわかりやすく伝える努力を続けていきたい。○教師も保護者も、子どもは楽しい学校生活を送れていると考えているが、わずかながら「2」もある。楽しくない原因はどんなところにあるのか、つらい思いをしている子はいないか、確認しながら教育に取り組んでいきたい。○教師の連携協力について、「4」の

② 確かな学力を育む教育の推進

<p>4 意欲的な学習態度</p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>5 授業力向上</p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>6 ICT活用</p> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
---	--	---

【学校から】○授業作りの工夫に関して、児童・教職員の「3」「4」の割合が上がっている。その影響からか、意欲的な学習態度も児童・教職員共に「3」「4」の割合が上がっている。自主発表に向けた取組の結果であろう。「2」の割合は大きく減っているものの、それでも勉強が「わからない」「楽しくない」という子どもが存在するという点を謙虚に受け止め、一人一人の子どもたちへ更に目を向けていきたい。

③ 健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

保護者
児童
教職員

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】○年間指導計画に沿って人権教育を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。問題が起こった時にはその都度、問題解決に努めている。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、教員側の保護者は不十分であると評

④ いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

<p>8 児童生徒理解</p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>9 いじめや問題への対応</p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>⑤ 特別支援教育の推進</p> <p>10 学校の支援体制</p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
---	--	--

【学校から】○授業作りの工夫に関して、児童・教職員の「3」「4」の割合が上がっている。その影響からか、意欲的な学習態度も児童・教職員共に「3」「4」の割合が上がっている。自主発表に向けた取組の結果であろう。「2」の割合は大きく減っているものの、それでも勉強が「わからない」「楽しくない」という子どもが存在するという点を謙虚に受け止め、一人一人の子どもたちへ更に目を向けていきたい。

① 子どもたちの身近な安全対策の充実

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

保護者
児童
教職員

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】○年間指導計画に沿って人権教育を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。問題が起こった時にはその都度、問題解決に努めている。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、教員側の保護者は不十分であると評

② 最適な学習環境の整備

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

保護者
児童
教職員

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】○年間指導計画に沿って人権教育を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。問題が起こった時にはその都度、問題解決に努めている。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、教員側の保護者は不十分であると評

③ 家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

保護者
児童
教職員

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】○保護者・児童の中に「2」の意見もわずかながら見られる。教師は生徒理解やいじめや問題への対応をすべての児童に対して行っているが、「自分が」「自分が」理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するという点を謙虚に受け止め、更に保護者や児童は現状にほぼ満足しているが、教職員は不十分であるととらえている。教職員から見ると「不十分な部分」については分析し、保護者への啓蒙、児童への指導を行っている。

14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

保護者
児童
教職員

0% 20% 40% 60% 80% 100%

【学校から】○保護者・児童の中に「2」の意見もわずかながら見られる。教師は生徒理解やいじめや問題への対応をすべての児童に対して行っているが、「自分が」「自分が」理解・対応してもらえてない、と感じる人が少数ながら存在するという点を謙虚に受け止め、更に保護者や児童は現状にほぼ満足しているが、教職員は不十分であるととらえている。教職員から見ると「不十分な部分」については分析し、保護者への啓蒙、児童への指導を行っている。

④ 本校の教育

<p>15 1 進んで行く挨拶の励行</p> <p>子どもたちは、学校や地域で自ら進んであいさつをしていると思いますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>16 2 話を聞く態度について</p> <p>子どもたちは、学習や生活の中で先生や友達の話を見ても、最後まで聞いていますか。</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>17 3</p> <p>0</p> <p>保護者 児童 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
--	---	--

【学校から】○毎月の施設安全点検を入念に行うと共に、日頃から遊具や用具の使い方について指導を繰り返して、子どもの事故防止に努めている。また、避難訓練を定期的に行い、緊急時に素早く安全が確保できるように努めている。今後も安全点検・安全教育に努めたい。○体力向上に関して、教職員は肯定的にみているが、アンケート結果から、児童の1割が「2」「1」をつけている。このような子どもたちが進んで体力向上に取り組めるような工夫を考えていきたい。○教科体育でも体づくりの運動などより一層工夫をしていきたい。